



ふるプロってなあに！ 第1号（全5回）

この間、校長先生と教頭先生が「ふるプロがどうのこうの」って話していたんだけど…。



知る人ぞ知るふるプロ。

これは、「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクトの略です。

それは嶺南教育事務所がやっているのか、って？

誰がやっているのかを一言で説明するのは難しいので、まずはふるプロが生まれた経緯からお話することにしましょう。

私たちの住む嶺南地区。

人口流出が長らく続き、それに伴う様々な課題について、嶺南地区教育長の皆さんが集う会議の中でも、数年前から話題に上っていました。

この状況を何とかすべく、立ちあがった事業の中の 하나가ふるプロです。

- ① 嶺南地区教育長の皆さんの危機感に端を発してスタートし、
- ② 「嶺南の教育」向上会議のメンバーによって練り上げられ、
- ③ 「嶺南ふるさと学習」推進プロジェクト会議のメンバーによってブラッシュアップを重ねてきたのがふるプロです。

嶺南地区県立高校 校長 6市町 校長会長
 2市 指導主事 教職大学院 教授
 嶺南教育事務所 所員

嶺南地区県立高校 校長 6市町 校長会長
 嶺南地区特別支援学校 校長 小中研究推進 校長
 福井大学 教授 教職大学院 教授
 嶺南教育事務所 所員
（令和5年6月現在）

嶺南教育事務所所員も関わっていますが、嶺南教育事務所がやっているというよりも、嶺南地区教育長の皆さんをはじめ、多くの関係者がそれぞれの場面でそれぞれの形で参画して育ててきたのが、このふるプロというわけです。

それで、ふるプロって何？

簡単にまとめると、こんな感じです。

探究学習というベースに、ふるさと学習というテーマを乗せて、学校種間で連携しながら、

手段



この手段で、この目的を達成しようという試みをするプロジェクトです。

必要な資質・能力を身に着け、併せてふるさとに愛着をもつ子どもたちを育てる

目的



学校の教育活動で行われるプロジェクトですから、ふるさとへの愛着形成はもちろんのこと、資質・能力を身につけることを重要視しています。

試みをするプロジェクト

- 自ら「問い」を作る力
- 対話力、協働する力
- 発信力、課題解決力



育てたい資質・能力として、これらを設定して、取組を進めてきました。